

山形県総合文化芸術館 開館記念コンサート

小曽根 真 (ピアノ)

新ホールから届ける
山形の新たな文化芸術の薫り

山形交響楽団

【曲目】シベリウス:交響詩「フィンランディア」作品26*

モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488★

小曽根 真:ピアノ協奏曲「もがみ」(合唱付き)★

〈合唱〉山響アマデウスコア/鶴岡土曜会混声合唱団



©中村風詩人

©Kazuhiko Suzuki

2020 3.29 日

16:00 開演

15:15 開場

やまぎん県民ホール 大ホール

(山形県総合文化芸術館)

【チケット発売日】一般発売 12月7日(土) 10:00~

※発売初日はやまぎん県民ホールチケットデスク電話・webのみ。窓口販売は12月8日(日) 10:00から。

【チケット料金】S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円 X席:1,000円

24歳以下の学生の方はS~Bの各席種50%割引(やまぎん県民ホールチケットデスク窓口または電話のみ取り扱い)

【チケット購入・お問い合わせ】

やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館) チケットデスク

TEL 023-664-2204 (火曜日・年末年始を除く10:00~17:00)

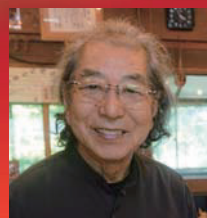
※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございます。 ※演奏会中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

※駐車場(有料360台)には限りがありますので、公共交通機関または近隣の駐車場もご利用ください。

【チケット取扱】

チケットぴあ <https://t.pia.jp>

e+(イープラス) <https://eplus.jp>



村川 千秋(指揮)※



太田 弦(指揮)★

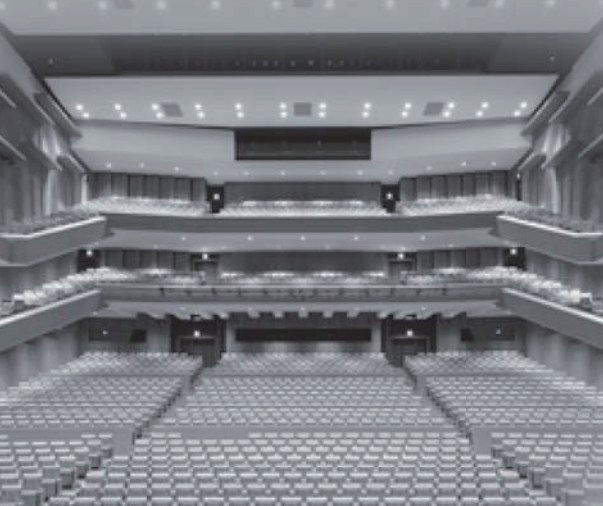


チケットの購入はこちら
<https://yamagata-bunka.jp>



平成31年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

主催:山形県総合文化芸術館オープニング事業等実行委員会 制作協力:山形県総合文化芸術館 指定管理者 みるぐるやまがた 後援:山形県



国際的に活躍を続けるジャズピアニスト・小曽根真、地域に根ざした活動で県民に愛されるオーケストラ・山形交響楽団が開館記念を彩ります。

コンサートの幕開けを飾るのは、山形交響楽団創立名誉指揮者・村川千秋の指揮によるシベリウスの交響詩「フィンランディア」作品26です。山形とフィンランドの厳しい冬の寒さや郷里への深い愛情を重ね合わせ、力強く新ホールの一歩を踏み出します。

続くモーツァルトのピアノ協奏曲第23番イ長調K.488を演奏するのは、ジャンルの枠にとらわれず常に新たな挑戦を続けるピアニスト・小曽根真。古典派ピアノ協奏曲の最高峰に、山形でどのような息を吹き込むのか、必聴です。最後は、山形県国民文化祭(2003)で当時の皇太子同妃両殿下ご臨席のもと、作曲家である小曽根自身が初演したピアノ協奏曲「もがみ」を再演します。山響アマデウスコア・鶴岡土曜会混声合唱団の合唱も加わり、山形が誇る自然の美しさ、歴史の重さ、未来への希望を改めて想い起こさせてくれるでしょう。ここ、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)から発信される新たな文化芸術の薫りを、ぜひ感じてください。

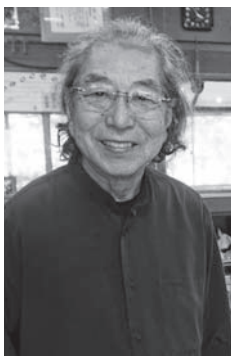


©久富健太郎

オフィシャル・サイト
<http://makotoozone.com>

小曽根 真 (ピアノ)

1983年バークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。チック・コリア、ゲイリー・パートン、ブランフォード・マルサリスなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」、ジェームス・ジーナス(ベース)、クラレンス・ベン(ドラム)と10数年にわたってのジャズ・トリオの活動など、ジャズの最前線で活躍。また、クラシックにおいても比類ない才能を開花し、NYフィル、サンフランシスコ交響楽団、シカゴ交響楽団など、欧米のトップオーケストラとも共演を重ねている。平成30年度紫綬褒章受章。



村川 千秋 (指揮)

東京藝術大学音楽学部器楽科、作曲科を卒業。インディアナ大学大学院で指揮を専攻し、マスター・オブ・ミュージックを授けられる。1966年東京交響楽団でのデビュー後、日本の主要オーケストラを指揮する。72年山形交響楽団設立、音楽監督兼常任指揮者を務める。これまでに山形県教育功労者表彰、渡邊暁雄音楽基金特別賞、齋藤茂吉文化賞、平成16年度地域文化功労者表彰を受賞。現在、山形交響楽団創立名誉指揮者、日本指揮者協会・日本弦楽指導者協会各会員。

太田 弦 (指揮)

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。19年4月より大阪交響楽団正指揮者に就任。



©ai ueda

山形交響楽団 (管弦楽)

オフィシャル・サイト
<http://www.yamakyuo.or.jp>



1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など年間150回の公演を実施している。2007年から15年まで「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催。08年アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。創立45周年を迎えた17年、「モーツァルト交響曲全集」を発売し話題となる。芸術総監督 飯森範親、常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ラデク・パボラク、創立名誉指揮者 村川千秋。

山響アマデウスコア (合唱)



音楽監督に佐々木正利・岩手大学名誉教授、指揮者に渡辺修身・山形大学教授を迎え、山形交響楽団のモーツァルト交響曲全曲演奏定期演奏会「アマデウスへの旅」シリーズに出演することを目的に2008年結成。同交響楽団附属の合唱団として数々の合唱付きの大曲を演奏し、合唱団の確かな存在感を示すなど県内外から高い評価を得ている。17年9月には、合唱団創立10周年を記念して単独の特別演奏会を開催し好評を博した。

鶴岡土曜会混声合唱団 (合唱)



1951年、故三井直氏が創立。80年現指揮者柿崎泰裕氏が就任。以来、定期演奏会とコンクールを活動の二本柱にして、作品委嘱、CD録音、世界の合唱指揮者による講習会の開催、成人式や訪問コンサートなど、さまざまな活動を展開している。団員現在は60名を超え、10代から60代までの幅広い年代が庄内一円から集まっている。全日本合唱コンクール全国大会に13回出場し、うち金賞2回を受賞している。今や東北を代表する合唱団として知られていて、全国にファンも多い。平成22年度齋藤茂吉文化賞受賞。

やまぎん県民ホール (山形県総合文化芸術館)

〒990-0828

山形県山形市双葉町1-2-38

TEL 023-664-2220

FAX 023-664-2209

[ホームページ] <https://yamagata-bunka.jp>

[休業日] 毎週火曜日(祝日の場合はその直後の平日)

年末年始(12月29日~1月3日)



※近隣の駐車場の詳細はホームページをご覧ください。